

VOL.

023

Oct. 2026

Kyowasyoji News Letter

災害時、固定資産税はどうなる？減免の仕組みと対応方法
塩の種類と違い ～料理での使い分けをご紹介～

Topics

災害時、固定資産税はどうなる？減免の仕組みと対応方法

最近、災害のニュースを目にする機会が増えました。いざというときに知っておきたい制度のひとつが「固定資産税の減免制度」です。制度の要件や必要な書類について確認してみましょう。



固定資産税の減免制度とは？※減免の内容や割合・申請期限は自治体ごとに基準が異なります

災害で土地や家屋、事業用の資産に被害を受けた方の税負担を軽くするための制度です。市区町村（東京23区は都）に申請することで、**被害の程度に応じて税額が軽減**されたり、**免除**されます。

減免の対象になるもの

土地 家屋
償却資産

家屋が被災した際の減免措置の割合

以下の割合が適用されるケースが多いです。

- 全壊は**全額免除**
- 大規模半壊は**6割**の減免
- 半壊は**4割**の減免

罹災証明書の判定が基準となります

！ 申請をしなければ適用されません！

代替家屋・土地取得の特例

被災した家屋や土地の代わりに**新たに取得・改築した場合**も固定資産税が軽減される特例があります。

新居取得後
4年間は
1/2 減額

※その後
2年間は
1/3 減額

※国が指定する大規模災害の場合

その他の特例や制度

納税が苦しい時の 徴収猶予

納税の**猶予**や**分割納付**が可能
【期間】原則として**1年以内**

住宅が壊れても続く土地の特例

税負担を軽減する特例
【期間】原則として**被災後2年間**

！ 土地のみが残った場合も対象に

申請方法と期限

申請には、**罹災証明書**が必要です。

市区町村の窓口で
罹災証明書を取得

罹災証明書を添えて
減免申請書を
税の窓口へ提出

申請期限は**納期限前**や**被害から60日以内とする自治体が多くなっています。**

減免制度の適用を受けるためには、**期限内での申請**が必要です。まずは**罹災証明書**を取得し、早めに相談しましょう。

！ 災害の規模や自治体によって、**基準が異なります。**事前に確認しましょう。

Topics

塩の種類と違い～料理での使い分けをご紹介～

料理には欠かせない「塩」。実はさまざまな種類があるのをご存じですか？塩の種類や原料による違い、料理ごとの選び方などについてご紹介します。



製法の違い

原料による違い - どこで採れるかで分類されます -

製法の違い	原料による違い - どこで採れるかで分類されます -
未精製の塩	海水塩
自然乾燥や煮詰めて生成／ミネラル豊富・甘みがあり、まろやか	天日塩(海水を天日乾燥)・せんごう塩(海水を煮詰め結晶化)
精製塩	岩塩
イオン交換膜法で生成、高純度／雑味なく、塩辛さはストレート	陸地の海水が蒸発・結晶化／地層由来のミネラル成分を含む
	湖塩
	塩湖産(ウユニ塩湖・死海等)／ミネラルをほどよく含む
	味の傾向
	まろやか、コクやうま味、軽い苦み
	塩気が強く、切れがあるシャープな味
	海水塩と岩塩の中間の味
	オススメの使い方
	下味をつける時／和食を作る際／魚料理
	仕上げに使用／エスニック料理／肉料理／天ぷら
	煮物やマリネ

塩は製法や原料によって味わいや合う料理が違います。色々な塩を食べ比べるのも面白いですね。